

いきっこ留学の改善策を 講じての結果

令和6年2月16日（金）

壱岐市いきっこ留学制度運営委員会

いきっく留学の改善策を講じての結果

改善項目（１）留学生のSOSの迅速なキャッチ

◇留学コーディネーター（２名）の定期的な面談及び里親宅の訪問により、留学生・里親・保護者と信頼関係の構築を図り、留学生のSOSの迅速にキャッチすることができた。（詳細は別紙参照）

①留学生向けアンケートの毎月実施

結果 アンケートを毎月実施したことで、留学生の心身の変化や里親または家族との関係性等について把握することができた。

②アンケートをもとに留学生面談の迅速な実施

結果 アンケート結果に不安のある留学生と面談を行うことで、不安解消・問題の早期解決につながった。また、各学期の初めには全留学生と面談を行い、信頼関係を構築できた。

③定期的な里親宅訪問の実施

結果 学期ごとに里親向けの生活実態調査を実施したことで、留学生の里親宅での生活を把握することができた。また、文書を配布する際等に里親宅を訪問し、留学生の様子を尋ねることで里親の悩みをキャッチし、困り感を軽減することができた。

④保護者（実親）との連絡

結果 面談内容や生活の様子を保護者と共有したことで、子どもとのつながりを継続させることができた。また、保護者から依頼や相談があった際には、迅速に対応したことで保護者の心的負担を軽減することができた。

⑤学校との情報共有

結果 アンケート結果や面談内容を学校と共有し、連携を図りながら対応したことで、問題の早期解決につなげることができた。

改善策

改善項目（２）留学生情報の事前共有

◇事前見学及び面談には資格を持ったコーディネーターも同席し、より多くの意見を反映したアセスメントを行うことができた。

その結果を基に、運営委員会で専門家や学校・地域関係者等から多角的な意見を取り入れたうえで留学希望者の選考を行うことができた。

①アセスメントシートの作成・活用

結果 留学タイプに合わせたアセスメントシートを作成し、面談時に実施したことで、留学希望者の目的意識の高さや学校及び家庭内での状況、留学するうえでの留意事項など関係職員全員で共有することができた。また、評価を点数化することで受け入れの優先順位が視覚化できるようになり、受け入れの判断基準を明確にすることができた。

②保護者・児童生徒との面談の充実

結果 子どもと保護者それぞれに目的意識の確認をすることで、アセスメントを充実させることができた。また、留学生の現状（登校状況、家での様子等）を把握することで、困り感をキャッチすることができた。

③運営委員会委員に専門家を登用

結果 臨床心理士や社会福祉士といった資格を持った委員を登用したことで、専門的知見に基づいて留学希望者を審査することができた。

改善策

改善項目（3）里親の負担感の軽減

◇里親支援の充実に努めることができた。

①留学生情報の提供

結果 新規里親留学生の情報について、里親宅を訪問し、申込書を手渡しのおかげで留学生の性格や特性について説明することで、里親の不安軽減や受け入れ準備の促進に努めることができた。また、里親宅の情報についても留学決定者に伝えることで、円滑なやり取りを推し進めることができた。

②里親と市教委で里親宅の状況を鑑み協議のうえ、留学生の預かり上限を設定

結果 アンケートを実施し、里親宅の部屋数や心身の負担を考慮しつつ預かり上限を設定することができた。また、アンケートは定期的に行い、里親宅の現状によって適宜決定する。

③緊急時対応マニュアルの作成

結果 事故・事件・災害等のあらゆる場面を想定し、起きた場合に備えての対処法や連絡体制などを記したマニュアルを、里親用と留学生用それぞれ作成し、各里親宅に配付したことで危機意識を高めるとともに里親の負担感を軽減することができた。

④緊急時避難場所の設定

結果 里親の預かり上限よりも余裕を持たせた受け入れ人数にすることで、里親内で一時的な避難場所としても利用可能な枠を設定することができた。また、次年度受け入れ予定のない里親についても、緊急時避難場所としての協力を得ることができている。

⑤里親の名称変更

結果 次年度より「しま親」と名称変更する。

改善策

改善項目（4）留学生活の充実

◇留学生・里親同士の交流機会を作ったことで、新たなつながりが生まれた。

①里親交流会の実施

結果 11/30に里親の顔合わせと本改善策の説明を主な内容として実施した。里親の意見交流の良い機会となり、今後は里親が主体となって受講する形の研修を行いたいという案も出され、里親が希望する形で定期的実施していく。

②留学生交流会の実施

結果 1/21に参加を希望した全留学生を対象に、お雑煮や吉岐の郷土料理等を協力して作るという形で実施した。交流会を通して地域や学年などの垣根を越えて仲良く会話する姿が見られ、事後アンケートは留学生と保護者両者に実施し、中身については次回を期待する声も多くあった。今後も趣向を変えつつ様々な形で定期的交流会を実施していく。

改善策